

## 157名の学びを地域に発信

熊本県立牛深高等学校

平成30年12月15日(土)に、牛深総合センターを会場に昨年度に引き続き2回目となる「総合学科発表会」を開催しました。

「県内初の普通総合学科」として開校し4年目を迎えた本校は、総合学科の高校として、1年次に「産業社会と人間」、2・3年次に「総合的な学習の時間」の授業を行っています。

今年度は、生徒それぞれの興味と牛深や天草の『地域』をかけ合わせた課題研究に力を入れて取り組みました。また、総合学科ならではの特色ある教育活動の学びの成果をステージ発表や展示を通して、保護者・地域・中学生などに現在の牛深高校の姿を発信しました。



3年次 課題研究「卒業論文」  
～牛深高校のゆるキャラづくり

### ステージ部門

郷土芸能部による「牛深ハイヤ踊り」で幕を開けたステージは、生徒会執行部による学校紹介に続き、各年次の代表生徒による発表、家庭科科目選択者による保育園児とのダンス、商業科目選択者による販売実習報告など8つの団体が発表を行いました。

2年次「総合的な学習の時間」では、「熊大生×牛高生＝ 」と題し、熊本大学サークルKumarismと連携して取り組んだ地域の魅力発信について発表しました。3年次「総合的な学習の時間」では、本校を知ってもらうためにLINEスタンプを活用しようというアイデアが発表され、この1年の学びの成果を堂々と発表し、地域の魅力や地域への思いを熱く語る場となりました。内容はもちろん趣向を凝らした発表の数々に大きな拍手をいただきました。



地元保育園児とダンスを披露

### 展示部門

1年次「産業社会と人間」における職業人インタビュー報告のほか、2・3年次「総合的な学習の時間」、家庭科、書道、地理、生物による授業成果物などを展示しました。中学生が興味を持った展示物に食い入るように見ている姿がありました。



観覧の様子

もっと多くの来場者をという課題は残りましたが、天草の課題を自分たちのこととして捉え、地域に向けて大きなビジョンを提案しました。来場者アンケートでは、プレゼン力の高さも評価されました。今回の発表会を機に、「地域の学校」として生徒たちが学びを深めることができるよう、さらに地域や外部との連携を深めていきます。